

自尊感情を高めるために

子どもは生活や遊びの中で自分を受容されたり認められたりすることで安心し、自尊感情が醸成され、「自己発揮」「自己実現」「自己決定」へとつながっていきます。

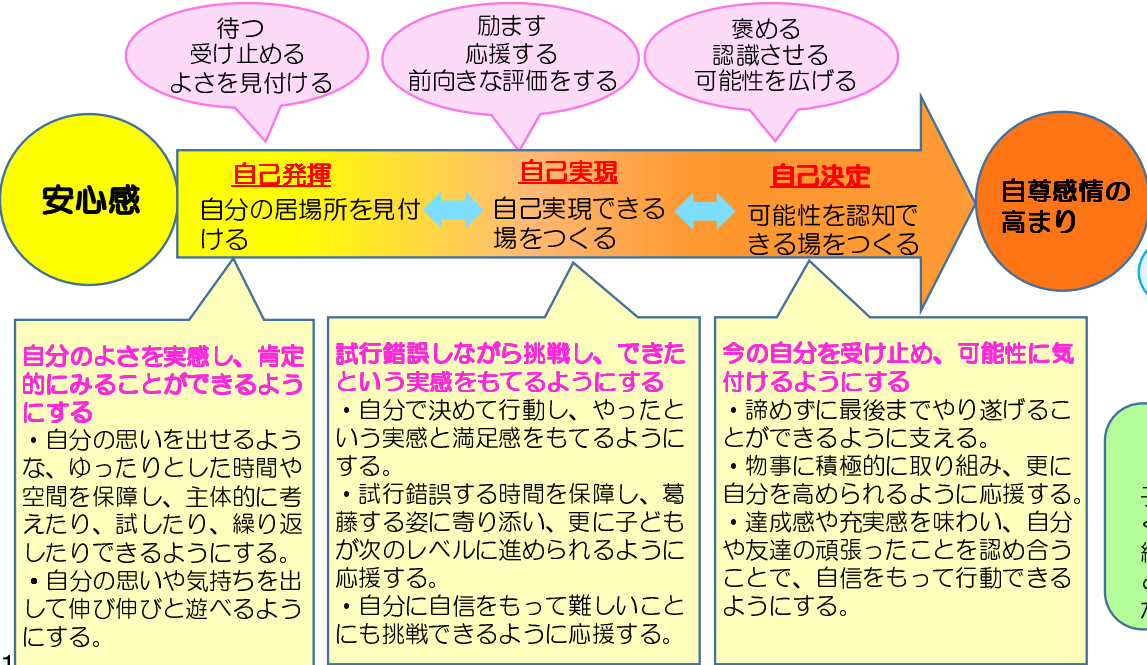
子どもの自尊感情を育み高めるためには、周囲の大人の関わりが重要であることから、園と家庭や地域が、意図的・計画的・組織的に適切な指導を行ったり働きかけたりしていくことが必要です。

子どもが安心して生活し、主体的に自己を発揮して満足感や達成感を味わうことができるように、保育者が子どもの自尊感情の育ちを意識し、個々の実態や思いに沿って内面を理解しながら発達に応じた指導や援助をしていくことが求められます。

保育者の関わりのポイント

子どもが心の安定を土台に自尊感情を高めていくようにするには、保育者との信頼関係を基盤に、日々の生活の中で、自分を肯定的に受け止めたり他者との関係に心を動かしたりしながら、様々な体験を積み重ねていくことが重要です。

子どもが生き生きと活動するには、子どもが主体的に活動できる環境を整え、友達と頑張りを認め合える心情や態度を育む保育者の援助が大切です。



関わりを振り返ってみましょう

子ども一人一人が自己を発揮して生き生きと活動できるようにしましょう

自尊感情の高まりにつながる関わり方になっているか確かめましょう

- 意欲的に遊んだり物事に取り組んだりできるような空間や時間の保障ができていますか。
- 自分の思いや気持ちを伸び伸びと発揮できるような関わりができていますか。
- 否定的な関わりでなく褒めたり認めたりする関わりができていますか。
- 結果でなく過程を認める関わりになっていきますか。
- 他者と比較するような関わりになっていませんか。 など

- ・子どもの主体性を尊重した保育内容や環境を考える。
- ・子どもの行動には意味があることを理解して、温かく見守り、子どもの行動にあった関わり方や言葉がけを考える。
- ・子どもの興味や関心を引き出し、好奇心や探求心を満足させて活動できるような関わり方考える。
- ・保育者の自尊感情が子どもに影響を及ぼすことから、保育者の自尊感情を高めるようにする。

連携・協働

子どもの自尊感情を高めるためには、園・所における指導・援助と共に、家庭や地域との連携を図ることが大切です。保護者との愛情関係が基盤にあることから、家庭との連携を密にし、小学校や地域と協働しながら子どもの成長を見守っていきましょう。

